

ボランティア活動

1 単位 (選択) 1 年

Introduction for volunteer

二宮 恒夫・教授/保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

【授業目的】 ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。ボランティア活動はもうひとつの信頼を育むコミュニケーションであることを学ぶ。

【授業概要】 ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を講義する。徳島大学病院など徳島県内のボランティア募集状況を紹介する。学生が主体的にボランティアを選択し活動する。

【キーワード】 無償性・自主性・公益性、近隣型・組織型ボランティア、NPO(非営利組織) 法人、守秘義務、信頼

【履修上の注意】 ボランティアの理念、目的を守り活動すること。

【到達目標】 1) ボランティアの理念を説明できる。 2) ボランティアのタイプと活動パターンを説明できる。 3) ボランティア活動の基本原則を説明できる。 4) 実際のボランティア活動を説明できる。 5) ボランティア活動参加の意義を説明できる。 6) ボランティア活動と NPO(非営利組織) 法人の関係、NPO 法を説明できる。 7) ボランティア活動をめぐる論点を説明できる。 8) 特定非営利活動の種類と、その具体的活動を説明できる。 9) 社会福祉協議会の活動を説明できる。

【授業計画】

1. ボランティアの理念(無償性、自主性、公益性)
2. ボランティアのタイプと活動パターン
3. ボランティア活動の基本原則
4. 実際のボランティア活動
5. ボランティア参加の意義
6. ボランティア活動と NPO 法人
7. ボランティア活動をめぐる論点
8. 特定非営利活動の種類と、その具体的活動
9. 社会福祉協議会の活動
10. 自分にあったボランティア活動は?
11. 徳島大学病院、徳島県内のボランティア募集の紹介、申し込み方法
12. 講義終了後、小テストを行う
13. 以後の時間は、各自ボランティア活動を行う

【成績評価】 小テスト結果(50%)と、ボランティア体験の活動報告書(50%)で総合評価する。なお、報告書の記載内容は、所定の用紙をあらかじめ配付するが、(1) 活動日時・場所・実働時間、(2) 活動内容(簡潔に)、(3) 活動の自己評価(400 字程度)の 3 項目からなる。(4) 報告書には、ボランティア主催者(責任者)の署名か捺印が必要である。報告書の提出締め切りは、平成 24 年 1 月末

とする(厳守)。報告書を締め切りまでに提出しなかった者は、受講しなかったものとみなす。

【教科書】 教科書として特別なものは無い。作成した資料やプリント、ボランティア募集案内を配付し講義する。

【参考書】 (感心のある方は貸し出し可能) 岩波書店編集部編:ボランティアへの招待(岩波書店) 秦 辰也:ボランティアの考え方(岩波書店) 金子郁容:ボランティア—もうひとつの情報社会—(岩波書店) 田中尚輝:ボランティアの時代—NPO が社会を変える—(岩波書店)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217786>

【連絡先】

⇒ ninomiya@medsci.tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー: 看護学講座教員研究室(二宮)(保健学B棟3階), 昼食時あるいは17時~18時)